

考えるテーブルとは…

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく対話のための場です。

さまざまなスタジオ協働団体やメディアテークがホストをつとめ、黒板に仕立てたテーブルをメディアとして、ライブで語り合います。

<http://table.smt.jp/>

「考えるテーブル」で行われるさまざまなイベントのスケジュールやこれまで開催されたイベントのレポートを閲覧できます。



3がつ11にちをわすれないためにセンター

当センターでは、市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録された映像、写真、音声、テキストなどを「震災の記録・市民協働アーカイブ」として記録保存します。

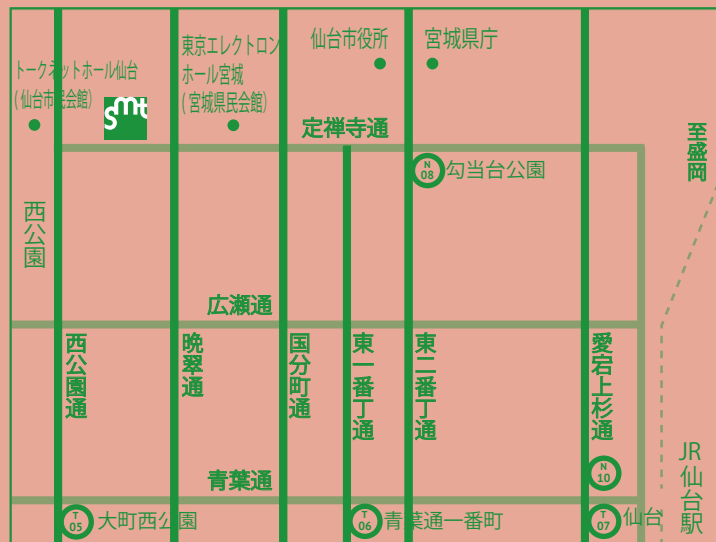
助成：一般財団法人 地域創造



せんだいメディアテーク

仙台市青葉区春日町 2-1

022-713-4483



※この用紙はリサイクルできます



「てつがくカフェ」は、わたしたちが普段、当たり前だと思っている事柄から、いったん身を引き離し、「そもそもそれって何なのか」といった問いとして投げかけます。そして、ゆっくりお茶を飲みながら対話をし、自分の考えを逞しくすることの難しさや楽しさを体験するものです。

今回は、映像作品を観て思ったことを語り合う「シネマてつがくカフェ」です。「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」が企画する展覧会「星空と路-資料室-」の関連企画として、『猿とモルターレ』の映像記録を上映し、“継承”について考えます。

第65回 テーマ

『猿とモルターレ』映像記録から“継承”を考える

(制作：小森はるか / 2017 年 / 日本 / 110 分)

◆日時

2018 年 3 月 10 日 (土) 13:00-17:45

* 13:00-15:00 の時間で『猿とモルターレ』の映像記録を上映します

◆場所

せんだいメディアテーク 1f オープンスクエア

◆主催

てつがくカフェ@せんだい / せんだいメディアテーク

◆お問い合わせ

mmp0861@gmail.com (てつがくカフェ@せんだい 西村)

◎ 申込不要・参加無料・直接会場へ

● 星空と路 - 資料室 -

「星空と路-資料室-」では、震災にまつわる様々なことから記録してきた「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」参加者による、震災から 7 年をむかえる今の記録や試みを紹介します。

会 期：2018 年 2 月 24 日 (土) - 4 月 22 日 (日)

9:00-22:00 ※ 3/22 (木) はお休み

場 所：せんだいメディアテーク 7f ラウンジ、
1f オープンスクエア (3/7-3/11 のみ)

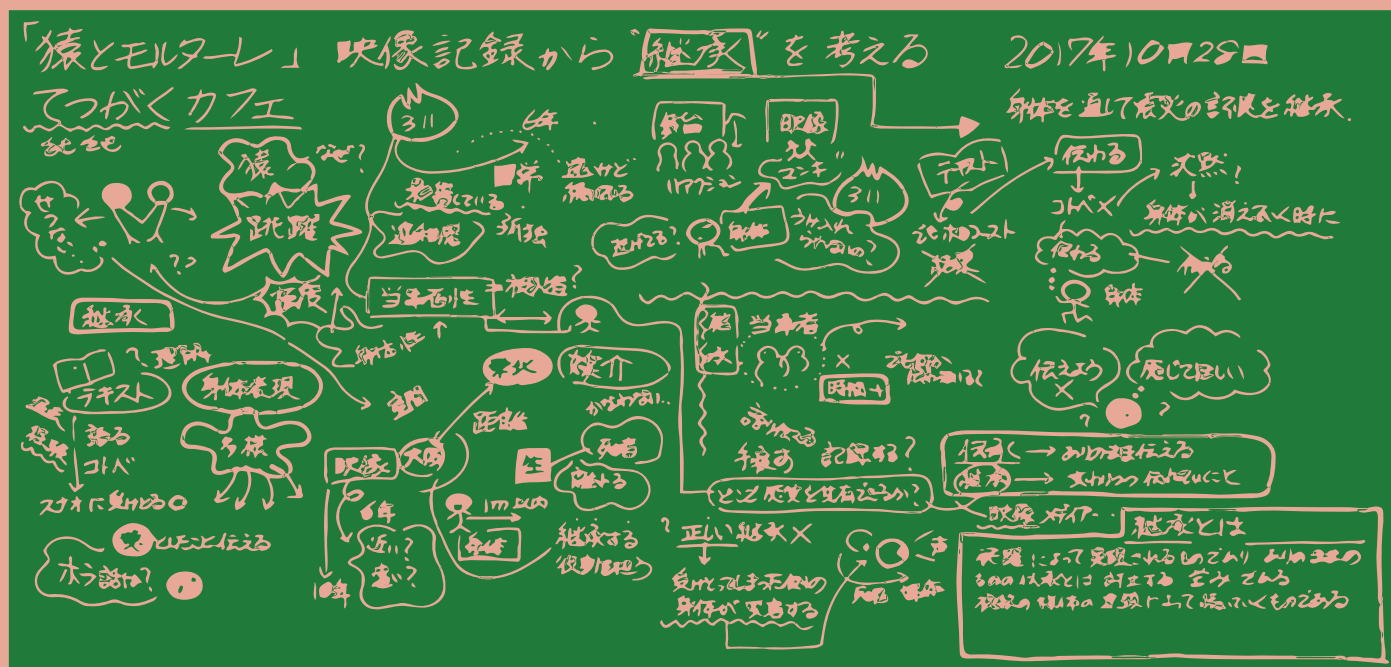
主 催：3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター



第65回

『猿とモルターレ』映像記録から“継承”を考える

—震災という出来事から、私たちは何を・どのように継承していくのか？



▲ 2017年10月28日に大阪市の「FLAG STUDIO」にておこなった、同作をテーマにしたシネマてつがくカフェの板書。
ファシリテーター：西村高宏、ファシリテーショングラフィック：近田真美子

2017年3月に茨木市市民総合センターで上演された『猿とモルターレ』は、東日本大震災の被災者ではない
じゃれお おさむ
砂連尾理が、当事者ではない立場で震災を表現した作品です。砂連尾が震災後に避難所生活する人びととの
交流を通じて、非常に困難な状況を経験した人びとの「命懸けの跳躍（＝サルト・モルターレ）」を考察し、
未来に向けて生きる私たちのサルト・モルターレを模索したパフォーマンス作品である『猿とモルターレ』。
今回は、その映像記録を鑑賞した経験から、「私たちは何を“継承”したのか」を対話を通して問うていきます。

「猿とモルターレ」アーカイブ・プロジェクト

西村高宏・近田真美子（てつがくカフェ@せんだい）

*「猿とモルターレ」アーカイブ・プロジェクトとは

『猿とモルターレ』が舞台芸術として試みたことや、作品で協働した出演者や観客と共有した体験を、異なる表現メディアで記録し、アーカイブしてきました。そして、それらの記録をもとに震災の記憶継承のありかたを検証するてつがくカフェやワークショップにも取り組んでいます。

◎関連イベント | 朗読+映像ワークショップ「記録と報告」

朗読ワークショップでは、瀬尾夏美『二重のまち』のテキストをもとに、さまざまな方法で朗読することで、出来事を経験している人／していない人の声や身体が、出来事を継承していく可能性について考えます。そして映像ワークショップでは、カメラに撮られることによる身体の変化を実際に観察することで、出来事がメディアで記録され、伝えられていくことの危うさや可能性を考察します。

日時：3月11日（日）11:00-17:00

会場：せんだいメディアテーク 7f スタジオ a

参加無料・要申込・先着 20 名

申込方法 2月17日（土）10:00 よりメディアテーク企画・活動支援室（022-713-4483）にてお電話で受け付けます。